

東北カラーズミーティング in 山形

1000台のバイクが金山に集結！



1

▼1 シューネスハイム金山から撮った集合写真。延べ1000台のバイクが集結、大きな賑わいを見せた。▼2 各出店ブース。多くのライダーに金山の特産品を知ってもらう場となった。特に人気だったのは「かねやま餃子」。▼バイクには県ごとに定められたバンダナを巻き付け集合。交流の輪が広がるきっかけとなった。

バイク愛好者が交流 地域活性化を

バイク愛好者による「東北カラーズミーティング in 山形」が10月1日、グリーンバレー神室をゴールに開催されました。

愛好者同士の交流促進と地域活性化が目的の本イベント。在住する県ごとに指定された色のバンダナを腕やバイクに巻き付け、近隣の道の駅で仲間と合流して金山を目指すというただ一つのルールに従い、東北各地のほか関東からも多くライダー達が訪れました。会場には約千台のバイクがずらり。カラフルなバンダナが映える快晴のグリーンバレー神室で、来場者はお気に入りの車体を写真に収めたり、バイク談義に花を咲かせるなどして交流を深めていました。



2



3

金山の若者有志も参加 イベントを盛り上げる

2回目の開催となった東北カラーズミーティング。ゴールデン地選定にあたっては、東北6県のどこからでも集まりやすい金山町に白羽の矢が立ったそうです。企画した愛好者団体「C・S・Dグループ」（北秋田市）の三澤直生代表は「金山町はとても良いところ。訪れる途中の景観も素晴らしい」と話していました。運営には、金山の若者有志も協力。町内の特産品を出店したブースはライダー達で大きな賑わいを見せていました。金山町とバイク。一見結びつかないような2つが、大きな相乗効果を生みました。地域を見つめ、その特性を活かすことが町おこしのヒントなのかもしれません。